



# READ Me



ネットワークから最新のソフトウェアをダウンロードできることは、インターネットの大きな魅力の1つです。このコーナー「READ Me」では、ネットワークから入手できる最新のソフトウェアに焦点をあてて、必ず役に立つ情報満載でお届けします。まずは今月の注目ソフトから。

## HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

## best 5

HOTTEST TOOLS

### Hatch inside Ver.2.0



動作環境

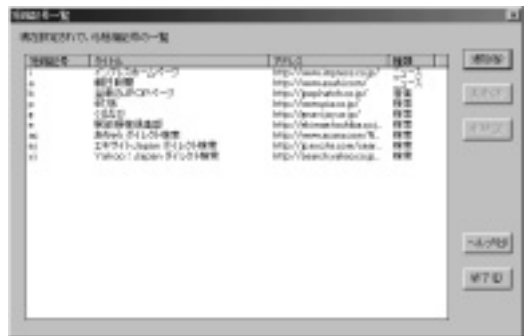
OS : ウィンドウズ95  
 種別 : フリーソフトウェア  
 作者 : ディアンドアイシステムズ株式会社  
 関連ページ : <http://www.hatch.co.jp/>



WWW ブラウザーでホームページを表示させるには、URL アドレスやIP アドレスを入力しなければならないが、それらは入力が面倒だ。そんな面倒なURL アドレスの代わりに、「インターネット番号」と呼ばれる数桁の番号を入力するだけで簡単にホームページにアクセスするためのツールが、このHatch insideだ。Hatch inside を起動するとタスクバーに常驻する。この状態でWWW ブラウザーを起動し、URLの入力欄にインターネット番号を入力す

るだけでホームページが表示される。あらかじめ登録されているインターネット番号はハッチのホームページ (<http://hatch.on.arena.ne.jp/noinfo.htm>) に掲載されているので前もって調べておこう。

また、Hatch insideはよく見るホームページを自分で短縮番号として登録できるのも特徴だ。たとえばインプレスのホームページ <http://www.impress.co.jp> を「i」とHatch insideに登録しておけば、WWW ブラウザーのURL入力欄に「\*i」と入力するだけでインプレスのホームページが表示される。Hatch insideは、WWW ブラウザーをまるで電話機の短縮



ダイヤルのように簡単に扱うことができるソフトウェアだ。

HOTTEST TOOLS

### WebBBS Ver.1.97

動作環境

OS : ウィンドウズ95、NT 4.0  
 種別 : フリーソフトウェア  
 作者 : 万代和明氏  
 CD-ROM収録先 : Win Webbbs  
 関連ページ : <http://www.alpha-city.co.jp/~WebBBS/>



WebBBSはウィンドウズ95のPersonal Web ServerやウィンドウズNT 4.0のIIS上で動作するCGIプログラムで、簡単な設定をするだけでホームページに掲示板を作成できるソフトウェアだ。利用するユーザーをIDによって管理できるため、ゲストユーザーは読み込みのみ、一般ユーザーは読み書き可能といった制限を設定できる。

CGIを使った一般的な掲示板システムは発言数が多いとどこまで読んだのかわからなく

なることが多いが、WebBBSではユーザーごとに未読の発言を管理できるので、自分がどの発言までを読んだかが一目で分かる。未読の発言だけを選択して読める点も嬉しい。発言内容の検索もできるため、過去に読んだ記事を参照するのも簡単だ。

また、掲示板の発言にはファイルを添付できるので、簡易ファイルサーバーにするとといった使い方も可能だ。WebBBSはインターネットだけではなくイントラネットでも利用できるため、「会社の部署内で簡単に掲示板を運用してみたい」といった使い方にもおすすめです。



HOTTEST  
TOOLS

# 電波少年的懸賞生活ソフト なすびの部屋 Ver.1.03



## 動作環境

OS : ウィンドウズ95  
種別 : 無償配布  
作者 : 株式会社ハドソン  
CD-ROM収録先 : Win Nasubi  
関連ページ : <http://nasubi.hudson.co.jp/>



「電波少年的懸賞生活ソフト～なすびの部屋」は、毎週日曜日に日本テレビ系列で放送されている「進め！電波少年」の人気コーナー「電波少年的懸賞生活」を元にしたインターネット対応ゲームだ。ゲームを始めるには、まずハドソンのウェブサイト内にある「なすびの部屋」のページで会員登録をし、そのページで販売されている1セット30枚の電子はが

きを購入する。

ゲームは、応募したい懸賞を選択し、購入した電子はがきを使って画面上の「なすび」にはがきを記入させ、懸賞に応募させることで進行する。ゲーム上で懸賞に当選すると画面上に賞品が表示され、なすびの生活が変化していく様子が楽しめる。

また、ゲームで応募した懸賞データはハドソンに送られ、実際の懸賞を行っているそれぞれのスポンサーにも届けられる。ゲームを楽しみながら実際の懸賞にも同時に応募できる仕組みだ。

なお、ゲーム上での懸賞と実際の懸賞とは連動しているわけではなく、それぞれ別々に

抽選が行われる。そのため、ゲーム上で懸賞に当選して賞品が届いたからといって、実際の懸賞に当選したわけではないので注意しよう。



HOTTEST  
TOOLS

# FARLUX COLOR REDUCER Ver.1.0Beta2



## 動作環境

OS : マッキントッシュ PPC  
種別 : シェアウェア 5,000円  
作者 : 有限会社スタジオブルテリア  
CD-ROM収録先 : Mac COLORREDUCER  
関連ページ : <http://www.studiobt.com/>



FARLUX COLOR REDUCER はデジタルカメラなどで撮影したり、スキャナーで取り込んだりしたフルカラーの画像ファイルを劣化を抑えながら256色以下に減色し、ファイルサ

イズを小さくするためのソフトウェアだ。FARLUX COLOR REDUCER はプレステーションやドリームキャストなどのゲーム開発に使われている業務用グラフィックソフトウェア「FARLUX」と同じ減色エンジンを採用しており、減色後も劣化の少ない高品質な画像を保つことができる。ホームページに掲載する画像ファイルはなるべく容量の小さいものにしたほうが読み込む時間が短い。また、プロバイダーから割り当てられたホームページの容量が決



まっている場合などには1つ1つの画像ファイルのサイズが小さいほうがより多くの画像ファイルを投稿できる。画像のサイズは変更しなくても、ファイルのサイズは小さくしたいといったときに利用するといいだろう。

HOTTEST  
TOOLS

# Aladdin Expander 2.0



## 動作環境

OS : ウィンドウズ95、NT 4.0  
種別 : フリーソフトウェア  
作者 : Aladdin Systems, Inc.  
CD-ROM収録先 : Win Stuffit  
関連ページ : <http://www.aladdinsys.com/expander/>



Aladdin Expander 2.0 は、マッキントッシュで一般的なファイル圧縮形式であるStuffit形式のファイルを展開するソフトウェアだ。Stuffit形式のファイルだけでなく、ZIP形式やgzip形式、ARC形式のファイルの展開もできる。また、マッキントッシュでよく使われるBinHex形式やMacBinary形式のデコード

機能も備えている。

Aladdin Expander 2.0の前バージョンと言えるStuffit Expander for Windowsは16ビットアプリケーションであったために、ロングファイルネームをサポートしていなかった。そのため、マッキントッシュユーザーがロングファイルネームのファイルをStuffit形式で圧縮したものをウィンドウズユーザーは展開できなかったが、今回のAladdin Expander 2.0では32ビットアプリケーションとなり、ロングファイルネームをサポートしたため、ウィンドウズユーザーでも問題なくロングファイルネーム



のStuffitファイルを展開できるようになった。Aladdin Expander 2.0はマッキントッシュユーザーとファイルのやり取りをする機会の多いウィンドウズユーザーに必須のソフトウェアだ。



# Let's Try!



「便利なソフトがあるみたいだけど、使い方がよくわからない」とか、「英語版のソフトを使ってみたいけど、英語が読めないからちょっと……」などと思っている人はいませんか？ このコーナーではそんなあなたのためにフリーソフトウェアやシェアウェアのインストール方法からソフトウェアの活用法までしっかり解説いたします。

**動作環境**

OS：ウィンドウズ3.1、95、NT 4.0、マッキントッシュ  
種別：無償配布

配布元：アドビシステムズ株式会社

CD-ROM収録先：ウィンドウズ版 Win Acrobat

マッキントッシュ版 Mac AdobeAcrobatReader

関連ページ：<http://www.adobe.co.jp/product/acrobat/>

Win Mac

## 今月の徹底解説ソフト

# Adobe Acrobat Reader 3.0aJ

Adobe Acrobat Reader は、PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを画面で表示したり、プリンターで印刷したりするためのソフトウェアです。PDF ファイルはHTMLでは表現できないような複雑なレイアウトの文書を、プラットフォームに依存せずどのような環境でも同じように表示できるのが特徴です。最近ではソフトウェアのマニュアルや新聞の速報などがPDF ファイル化され、インターネットで配布されています。

## Adobe Acrobat Readerをインストールしよう

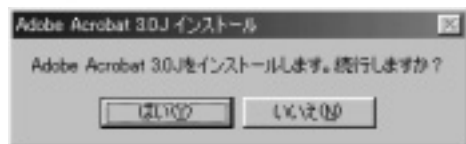
### ウィンドウズ版

1

ウィンドウズ版 Adobe Acrobat Reader はインターネットナビゲーターCDに収録されています。「Nov98\_a」「Win」「Acrobat」の順にフォルダーを開いて、フォルダーの中にある「ar32j30a.exe」をダブルクリックで起動します。

2

インストールプログラムが起動します。「はい」をクリックします。



3

しばらくすると上の画面が表示されます。「次へ」「はい」とクリックします。



4

インストール先を指定します。そのままであれば「次へ」をクリックします。



5

以上でインストールは終了です。「終了」をクリックします。



### マッキントッシュ版

1

マッキントッシュ版 Adobe Acrobat Reader はインターネットナビゲーターCD[A]に収録されています。「Nov98\_a」「Mac」「Adobe Acrobat Reader」の順にフォルダーを開いて、フォルダーの中にある「Reader3.0aJ Installer」をダブルクリックで起動します。

2

インストールプログラムが起動します。「続行」をクリックします。





## 3

ソフトウェアの使用許諾契約が表示されます。特に問題がなければ「承諾」をクリックします。



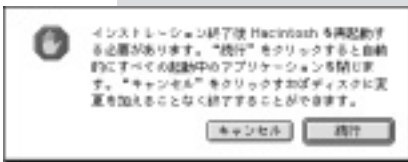
## 4

インストール先を指定します。そのままであれば「インストール」をクリックします。



## 5

アラートが表示されます。他のソフトウェアが起動していないことを確認して「続行」をクリックします。



## 6

インストールが完了すると上の画面が表示されます。「再起動」をクリックしてマッキントッシュを再起動します。



# 基本操作を マスターしよう

インストールが完了したら、早速Adobe Acrobat Readerを使ってみましょう。ここではウィンドウズ版を使って解説しますが、マッキントッシュ版も操作方法は同じです。



Adobe Acrobat Readerをインストールしたフォルダー内に「Help」というフォルダーがあります。このフォルダー内に「Reader.pdf」というファイルがありますので、サンプルとしてこのファイルを開いてみましょう。



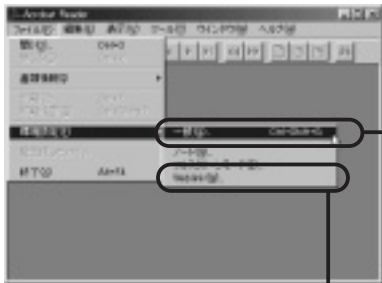
「Reader.pdf」を開くと、左のような画面が表示されます。ウィンドウにはメニューバーとツールバー、そしてPDFファイルの1ページ目が表示されます。PDFファイルは拡大や縮小をしても文字がなめらかに表示されるのが特徴です。「拡大」ボタンをクリックして読みやすいサイズに変更しましょう。ただし、画像ファイルは拡大するとジャギー（画像が荒れること）が目立ちます。ツールバーの「次ページ」ボタンをクリックすると次のページに進みます。

<b>しおりとページボタン</b> ウィンドウの右にページのタイトルが表示されます	<b>前ページボタン</b> 前のページに戻ります	<b>戻るボタン</b> リンク先に戻ります	<b>全幅表示ボタン</b> ウィンドウの横幅に合わせてサイズを変更します
<b>ページのみボタン</b> ウィンドウにページのみが表示されます	<b>拡大ボタン</b> 画面を拡大または縮小します	<b>次ページボタン</b> 次のページに進みます	<b>全体表示ボタン</b> ページ全体が表示されるようにサイズを変更します
<b>手のひらボタン</b> 画面の表示位置を調整します	<b>テキスト選択ボタン</b> ファイル内のテキストを選択します	<b>最終ページボタン</b> 最終ページに移動します	<b>実寸表示ボタン</b> 実際のサイズで表示します
<b>サムネールとページボタン</b> ウィンドウ左に各ページを縮小したものが表示されます	<b>開始ページボタン</b> 1ページ目に移動します	<b>進むボタン</b> リンク先に進みます	<b>検索ボタン</b> 表示ファイル内の単語を検索します

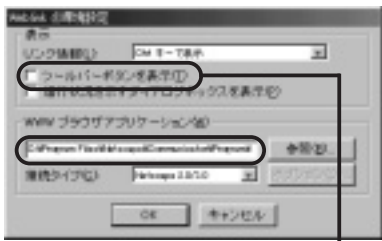
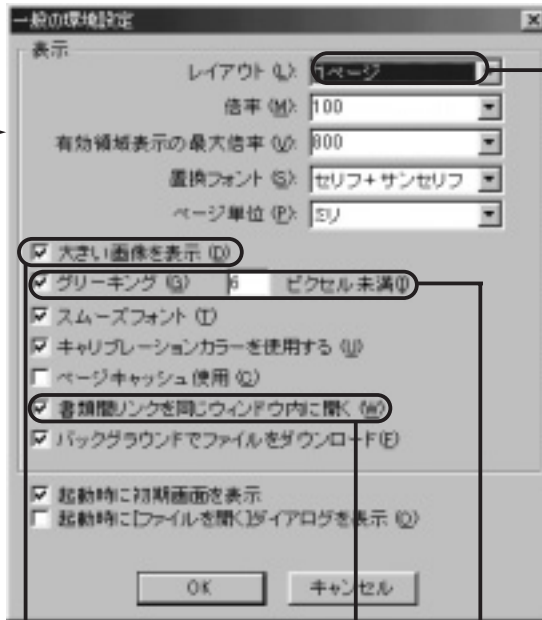


# Adobe Acrobat Readerの設定をしよう

Adobe Acrobat Readerは標準設定のままでも使えますが、環境設定でWWWブラウザと連携したり、表示方法を変更したりすることによってさらに使いやすくなります。



「ファイル」メニューの「環境設定」から「一般」を選択すると右のような「一般の環境設定」のウィンドウが表示されます。Adobe Acrobat Readerを使いやすくカスタマイズしましょう。

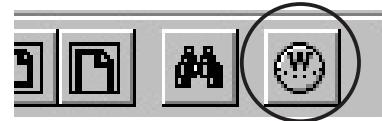


**WebLinkの環境設定**  
「ファイル」メニューの「環境設定」から「WebLink」を選択すると上のような「WebLinkの環境設定」のウィンドウが表示されます。「WWWブラウザアプリケーション」の欄に通常利用しているWWWブラウザを指定します。PDFファイルでURLがリンク指定されているとWWWブラウザが起動し、そのホームページが表示されます。

**大きい画像を表示**  
このチェックボックスを外すと128Kバイト以上の画像が表示されなくなり、ページの表示が速くなります。


**書類間リンクを同じウィンドウで開く**  
これは、現在表示しているPDFファイルから別のPDFファイルにリンクが指定されている場合に、リンクされている別のPDFファイルを同じウィンドウで開くかどうかの設定です。このチェックボックスを外すとリンク先の別のPDFファイルが新しいウィンドウで開かれます。

「ツールバーボタンを表示」にチェックを付けると、Adobe Acrobat Readerのツールバーに「Webブラウザ」ボタンが表示され、このボタンをクリックすると「WWWブラウザアプリケーション」で指定したWWWブラウザが起動します。




**レイアウト**

「レイアウト」はPDFファイルの表示方法の設定です。標準では「1ページ」になっていますが、「2コラム」に変更するとウィンドウに2ページずつ表示されます。




標準設定の1ページ表示の画面。



2コラム表示の画面。右側に奇数ページ、左側に偶数ページが表示される。

**グリーキング**

指定したサイズ以下の小さい文字をグレーの線で表示します。小さい文字が表示されなくなるのでページの表示が速くなります。





## WWW ブラウザーで 表示しよう

Adobe Acrobat Readerはプラグインを使ってWWW ブラウザーでPDFファイルを表示することができます。

Adobe Acrobat Readerをインストールするとプラグインも同時にインストールされるので、特にWWW ブラウザーの設定をする必要はありません。WWW ブラウザーでホームページにあるPDFファイルへのリンクをクリックするとWWW ブラウザー内にPDFファイルが表示されます。操作方法はアプリケーション版のAdobe Acrobat Readerとまったく同じように使えます。

このプラグインは、ウィンドウズ版はネットスケープコミュニケーター、インターネットエクスプローラの両方に対応していますが、マッキントッシュ版はネットスケープコミュニケーターのみに対応しており、インターネットエクスプローラでは利用できません。マッキントッシュ版のインターネットエクスプローラではAdobe Acrobat Readerはヘルパーアプリケーションとして動作します。サーバー側がAdobe Acrobat Readerに対応していれば、PDFファイル全体をダウンロードして表示するのではなく、必要なページのみを1ページずつダウンロードしてWWW

ブラウザで表示することもできます。必要なページのみ表示できるのでサイズの大きいPDFファイルすべてをダウンロードせずに、PDFファイルの一部を保存したり印刷したりすることができます。

アプリケーション版のAdobe Acrobat Readerでは拡大縮小は1つのボタンになっており、縮小する場合は「ctrl」キー（マッキントッシュでは「option」キー）を押しながらマウスをクリックしますが、プラグイン版では拡大ボタンと縮小ボタンが別のボタンになっています。また、プラグイン版のAdobe Acrobat Readerでは、ツールバーをウィンドウの上下左右の好きな場所に自由に移動できます。



## PDFファイルを作成するには

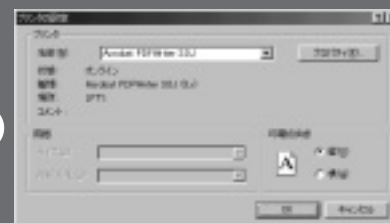
Adobe Acrobat ReaderはPDFファイルを表示するためのソフトウェアなので、PDFファイルを作成するためには製品版の「Adobe Acrobat 3.0J」が必要です。

Adobe Acrobat 3.0Jをインストールするだけで、使い慣れたワープロソフトや表計算ソフト、DTPソフトなどどんなソフトウェアからでもPDFファイルを簡単に作成することができます。PDFファイルの作成方法は、各アプリケーションの印刷ダイアログからプリンターに出力する代わりに、Adobe Acrobat 3.0Jに付属の「Acrobat PDF Writer 3.0J」という仮想プリンターに出力するように設定するだけです。プリンターにAcrobat PDF Writer 3.0Jを選択すると、紙には印刷されずにPDFファイルが作成されます。そのような仕組みのため、PDFファイルの作成には特定のアプリケーションを必要とせず、印刷メニューのあるアプリケーションソフトなら、どのようなソフト



製品版の「Adobe Acrobat 3.0J」をインストールすると「Acrobat PDF Writer 3.0J」というプリンタードライバがインストールされます。

ウェアでも作成することができるのです。また、最新版のAdobe Acrobatでは動画やサウンドファイルにリンクするといった設定もできるのでマルチメディアコンテンツを簡単に作成することができます。



ワープロなどのアプリケーションから印刷する際にプリンターを「Acrobat PDF Writer 3.0J」に設定します。



アプリケーションから印刷を実行すればPDFファイルが作成されます。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)